

第62期
株主通信

〈平成28年4月1日～平成29年3月31日〉



CLEAN & HEALTHY



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第62期(平成28年4月1日から平成29年3月31日)の決算と経営の状況についてご報告申し上げます。

平成27年7月に創業60周年を迎えた当社グループは、昨年度より「成長の10年から変革の10年へ」をテーマに掲げております。これまで以上に、社会に貢献できる企業として成長を遂げることができるよう努めてまいり所存です。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援とご理解を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

小野本孝二

当期の業績(平成29年3月期決算)について お聞かせください。

当社グループの主要事業が属するヘルスケア業界は、高齢者人口の増加を背景に、その市場は拡大傾向にあります。需要は堅調に拡大し、成長分野として注目を集める一方、参入事業者も多く、地域における競合や価格競争等も発生しております。

また、平成28年4月には診療報酬改定が行われ、「調剤サービス」を中心に、当社グループの事業を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。

このような状況の中、当連結会計年度における当社グループの売上高は、「健康生活サービス」「環境サービス」において前年同期比増収を達成しましたが、「調剤サービス」が診療報酬改定などの影響を受け減収となったことにより、8期ぶりの減収となりました。利益面につきましても、「健康生活サービス」「環境サービス」の売上増に伴う利益増や工場燃料費の減少などがあったものの、営業力強化のための人件費等の増加や「調剤サービス」の減収に伴う利益減などにより、前年同期をわずかに下回る結果となりました。親会社株主に帰属する当期純利益においては、法定実効税率の

引き下げの影響により、前年同期比増益となっております。

セグメント別にみてまいりますと、「健康生活サービス」では、病院関連事業およびシルバー事業において、主力であるレンタル売上が堅調に推移したほか、クリーニング設備製造事業も好調だったことなどにより、前年同期比2.7%の増収、14.3%の増益となりました。

「調剤サービス」では、9店舗の新規出店により処方せん受付回数は増加したものの、薬価切り下げの影響やC型肝炎治療薬の需要減などにより処方せん単価が下がり、前年同期比6.0%の減収、20.7%の減益となりました。

「環境サービス」では、太陽光事業を行う連結対象子会社が1社増加したことや、ビル清掃管理事業が新規契約獲得によって好調に推移したことなどにより、前年同期比2.6%の増収、24.5%の増益となりました。

今期の見通しはいかがですか。

引き続き「健康生活サービス」および「環境サービス」の売上が堅調に推移するとともに、「調剤サービス」においても昨年の診療報酬改定によるマイナス影響から回復しつつあり、

売上高は順調に推移すると考えております。一方、「調剤サービス」において、かかりつけ薬局として在宅調剤への対応を強化することによる労務費等の増加や、「環境サービス」において、リースキンブランド設立50周年の記念イベントの開催およびリースキン事業の事業譲受に伴い一時的な費用が発生することなどから、利益面につきましては厳しい状況となることが見込まれます。

今後の事業展開について
お聞かせください。

ヘルスケア業界の大きな転換点となるであろう診療報酬・介護報酬の同時改定を翌年に控え、本年は国の社会保障制度改革の動向を注視するとともに、具体的な方策に適宜迅速に対応していく必要があると考えております。トーカイグループといたしましては、医療と介護の両分野で事業を展開していることを強みに、引き続き「地域包括ケアシステム」に寄与する事業者を目指すとともに、「総合ヘルスケア企業」としての価値の最大化を図ることで、社会のニーズに適した事業展開と業容拡大に努めてまいります。

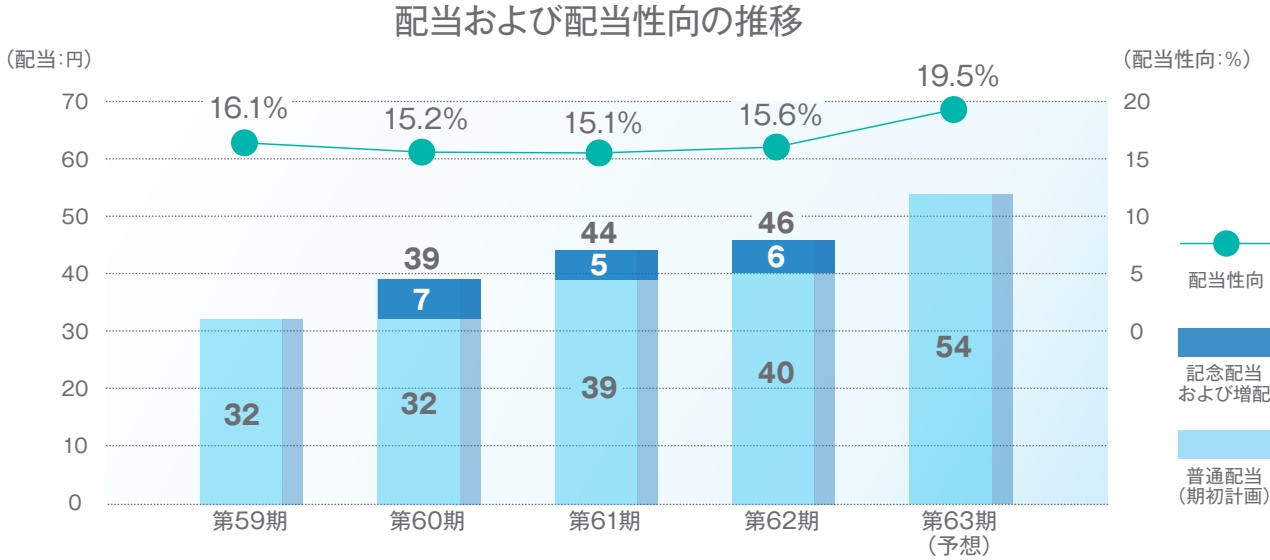
一方で、こうした事業環境の変化に適切に

対応していくためには、積極的な人事戦略も必要不可欠であります。国内の労働力不足がより一層深刻化する中、トーカイグループにおいても、人材の確保は非常に厳しい局面を迎えております。こうした状況を踏まえ、グループ内の人事制度の見直しおよび改革を図り、労働力不足に対応していくことが喫緊の経営課題であると認識しております。

労働力不足に対応していくために、
どのような取り組みをされていますか。

トーカイグループにおいても「働き方改革」に積極的に取り組み、多様な働き方を推進すべく既存の人事制度の見直しを図っております。その一つとして、昨年度より非正規従業員を対象とした「地域限定社員制度」を導入いたしました。地域限定社員は、勤務地や業務を特定して従事する従業員で、正社員に準じた給与体系となるため、安心して長く勤めていただくことができると考えております。こうした施策により、優秀な非正規従業員の定着を図り、貴重な人材確保につなげてまいります。

また、トーカイに「人財開発部」を創設し、採用活動強化のための組織体制を整備いたしました。これまで非正規従業員の採用は



各現場において行っておりましたが、採用活動を行う部門を一本化することで、コストの削減を図るとともに、ノウハウの蓄積によって採用スキルを向上させ、労働力不足解消に向けた攻めの採用活動を実践してまいります。

最後に、株主還元に関するお考えを
お聞かせください。

当社は株主様に対する利益の還元を、重要な経営課題の一つと捉え、安定的な配当を継続することおよび総還元性向15%を目安として配当金額を決定することを、配当政策の基本

方針としてまいりました。それにより当期の配当につきましては、当初計画より6円増配し、年間配当46円とさせていただきました。

なお、今後につきましては、株主還元の更なる充実を図るため、今期より目安とする総還元性向を20%に引き上げることといたしました。これを受けまして、平成30年3月期(第63期)につきましては、中間配当27円、期末配当27円の年間配当54円を予定しております。

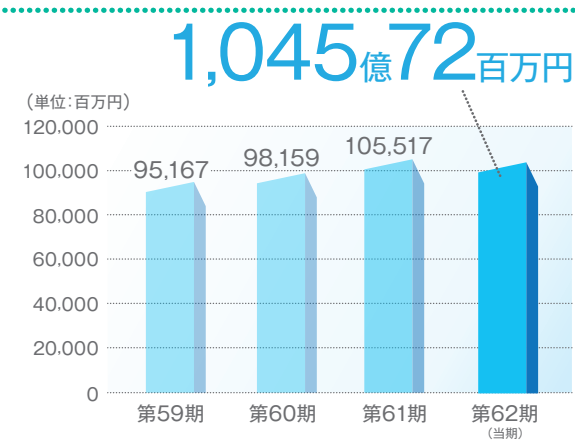
株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結決算ハイライト

売上高

前年同期比 **0.9% 減**

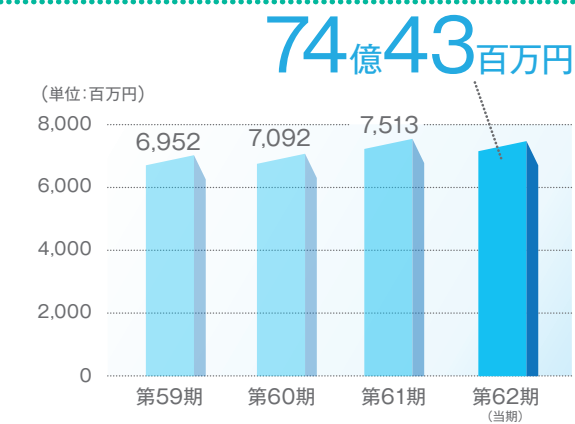
「健康生活サービス」「環境サービス」セグメントにおいて増収を達成しましたが、「調剤サービス」の減収により、連結売上高は前年同期比0.9%減で8期ぶりの減収となり、1,045億72百万円となりました。



営業利益

前年同期比 **0.9% 減**

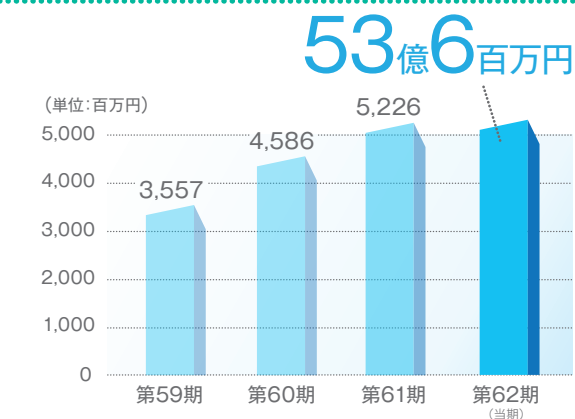
「健康生活サービス」「環境サービス」セグメントにおける利益増や工場燃料費の減少などがあったものの、人件費等の増加や診療報酬改定のマイナス影響などにより、前年同期比0.9%減の74億43百万円となりました。



親会社株主に帰属する当期純利益

前年同期比 **1.5% 増**

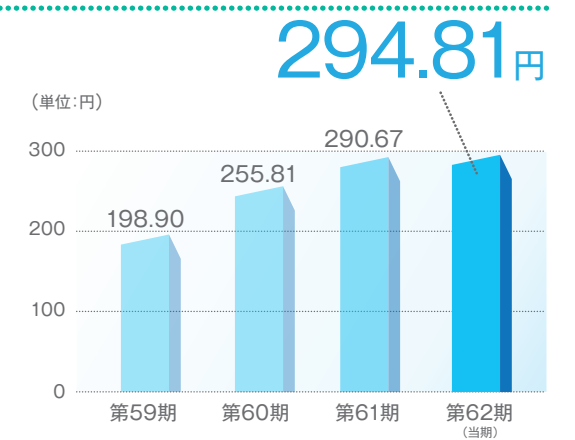
法定実効税率の引き下げの影響により、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比1.5%増の53億6百万円となりました。



1株当たり当期純利益

前年同期比 **1.4% 増**

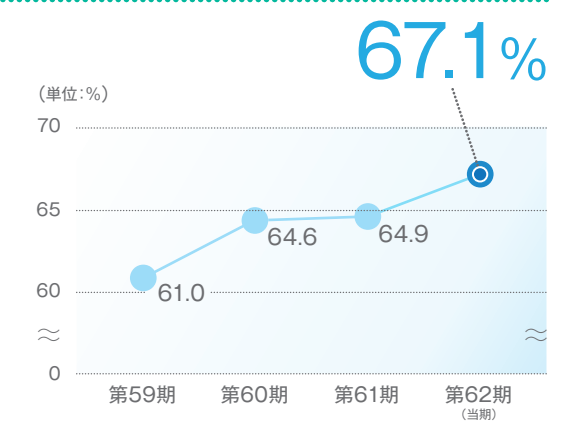
当期純利益と連動し、前年同期比1.4%増の294.81円となりました。



自己資本比率

前年同期比 **2.2ポイント 増**

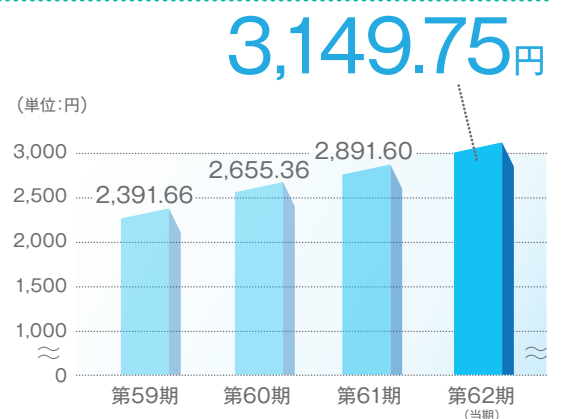
前年同期比2.2ポイント増の67.1%となりました。引き続き安定した財務基盤を維持しております。



1株当たり純資産

前年同期比 **8.9% 増**

前年同期比8.9%増の3,149.75円となりました。



健康生活サービス

病院関連事業およびシルバー事業において
レンタル売上が堅調に推移。
また、クリーニング設備製造事業の好調によって
増収増益となりました。

▶ 売上高

前年
同期比

2.7% 増

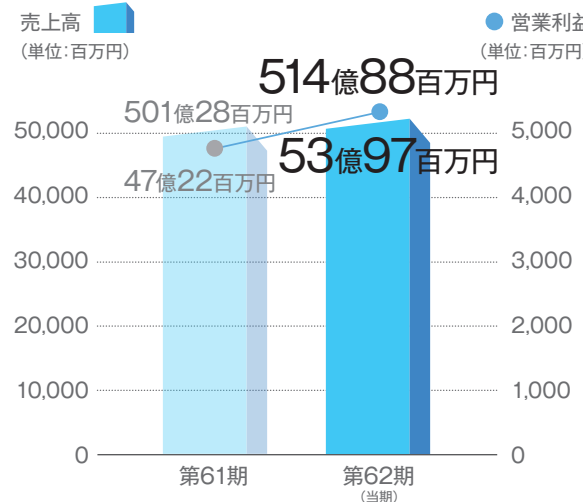
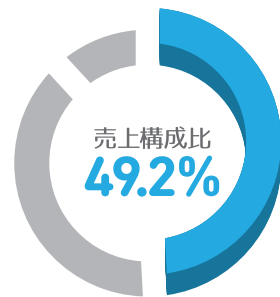
〔前年同期比13億60百万円増〕

▶ 営業利益

前年
同期比

14.3% 増

〔前年同期比6億74百万円増〕



病院関連事業およびシルバー事業に

おいて、レンタル売上が堅調に推移したほか、
クリーニング設備製造事業も好調であった
ことから前年同期比増収となりました。

利益面については、営業力強化のための
人件費の増加はあったものの、売上増加に
伴う利益増や工場燃料費の減少により
前年同期比増益となりました。

ネクサージ専用工場新設へ



▲ネクサージ専用工場外観

岐阜県羽島市の当社羽島本部敷地内に、手術用リネンの
リユースシステム「ネクサージ®」の専用工場を新築。現在は、
7月の稼働に向けて機械設備の導入を進めております。
ネクサージは、羽島工場、横浜工場、四国工場の3拠点で
洗浄・再生加工を行っておりますが、高まるニーズにしっかりと
対応していくため、羽島工場内のネクサージ工程を羽島本部
敷地内に移転新築し、専用工場といたしました。生産能力の
向上と合わせて、ICチップの導入などによって省人化・省力化
を図り、更なる事業拡大を目指してまいります。

調剤サービス

新規出店効果はあるものの
診療報酬改定のマイナス影響によって
減収減益となりました。

▶ 売上高

前年
同期比

6.0% 減

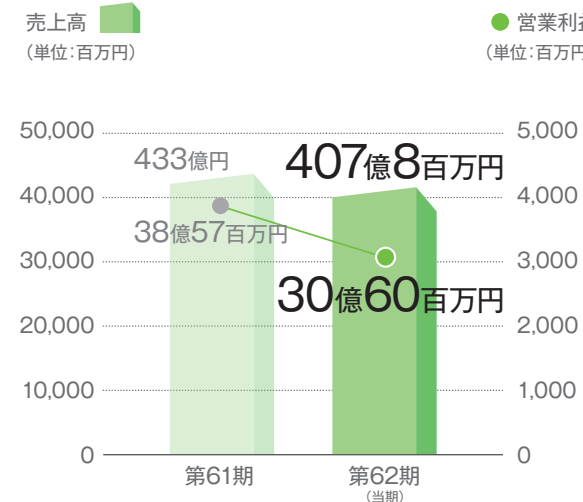
〔前年同期比25億91百万円減〕

▶ 営業利益

前年
同期比

20.7% 減

〔前年同期比7億97百万円減〕



当期9店舗、前期4店舗の

新規出店効果はあるものの、
診療報酬改定のマイナス影響
により前年同期比減収減益
となりました。

門前薬局でありながら地域の「かかりつけ薬局」へ



▲八事日赤前店（名古屋市）



▲屋島店（高松市）



▲福神店（奈良県吉野郡）

当期は各地の中核病院の門前を中心に、9店舗
を出店し、店舗数は124となりました。

平成28年度診療報酬改定においては、薬価切り
下げにより薬剤料売上は大きく減少したものの、
いわゆる門前薬局に対する評価の見直しなど
技術料に関しては、軽微な影響にとどまりました。
今後も、在宅調剤への取り組みを強化するなど、
門前薬局でありながらも地域の「かかりつけ薬局」
としての役割を果たし、地域医療に貢献できる
薬局づくりに努めてまいります。

環境サービス

太陽光事業を行う
連結対象子会社が1社増加し
増収増益となりました。

▶ 売上高

前年
同期比

2.6% 増

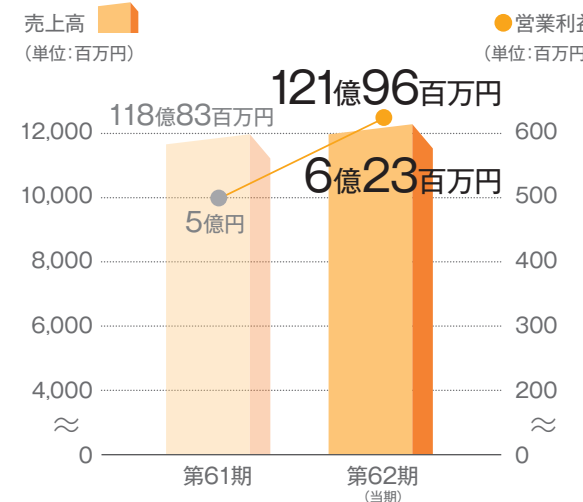
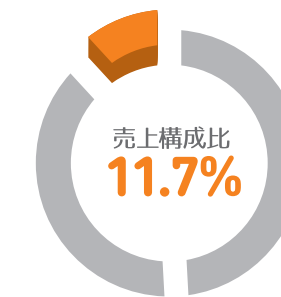
〔前年同期比3億13百万円増〕

▶ 営業利益

前年
同期比

24.5% 増

〔前年同期比1億22百万円増〕



ビル清掃管理事業が好

調に推移したことや、太陽
光事業を行う「九州メガ
ソーラー株式会社」が連結
対象となったことにより前年
同期比増収増益となりま
した。

リースキン新商品のご紹介

業務用芳香器
アロマRX-E

従来の業務用芳香器
「アロマRX-Ⅲ」を、
インテリア性の高い
デザインに刷新。香り
も16種類から選べる
ように、ラインアップ
を充実させました。

▲アロマRX-E

台所用洗剤

オーガニック植物エキ
ス配合で、手肌にも環境にも
優しい台所用洗剤です。

洗濯用液体洗剤

酵素パワーで高い洗
浄力を発揮する濃縮
タイプの洗濯用洗剤
です。

▲台所用洗剤

防カビ・消臭シート

浴室の防カビ用とゴミ箱・下駄箱の
消臭用シートのセット。浴室の壁や
ごみ箱のふた裏などに貼り付ける
だけで高い効果を
発揮します。

▲ゴミ箱下駄箱の消臭用
〔シートタイプ〕▲浴室の防カビ用
〔ちょうちょタイプ〕

連結財務諸表（平成29年3月31日現在）

連結貸借対照表（要約）（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当連結会計年度 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産	41,568	43,546
固定資産	38,683	40,968
有形固定資産	26,775	30,550
無形固定資産	736	854
投資その他の資産	11,171	9,563
資産合計 ポイントA	80,252	84,514
負債の部		
流動負債	22,647	22,168
固定負債	5,345	5,434
負債合計 ポイントB	27,993	27,602
純資産の部		
資本金	8,108	8,108
資本剰余金	4,779	4,780
利益剰余金	37,982	42,302
自己株式	△ 23	△ 22
株主資本合計	50,845	55,168
その他有価証券評価差額金	1,201	1,528
退職給付に係る調整累計額	1	1
その他の包括利益累計額合計	1,202	1,530
新株予約権	3	—
非支配株主持分	207	213
純資産合計 ポイントC	52,259	56,912
負債純資産合計	80,252	84,514

連結損益計算書（要約）（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
売上高	105,517	104,572
売上原価	80,978	79,635
売上総利益	24,539	24,937
販売費及び一般管理費	17,025	17,493
営業利益	7,513	7,443
営業外収益	337	341
営業外費用	124	94
経常利益	7,727	7,691
特別利益	370	7
特別損失	82	75
税金等調整前当期純利益	8,014	7,623
法人税等	2,801	2,309
当期純利益	5,213	5,313
非支配株主に帰属する当期純利益 又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△ 12	6
親会社株主に帰属する当期純利益	5,226	5,306

ポイント解説

- A** 総資産は、主に当期より太陽光事業を行う連結対象子会社が1社増加したことによる有形固定資産の増加などにより、前期末に比べ42億62百万円増加し、845億14百万円となりました。
- B** 負債は、主に借入金の減少などにより、前期末に比べ3億90百万円減少し、276億2百万円となりました。
- C** 純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益を計上したことなどにより、前期末に比べ46億53百万円増加し、569億12百万円となりました。その結果、自己資本比率は67.1%となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
ポイントD 営業活動による キャッシュ・フロー	8,170	9,498
ポイントE 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 6,842	△ 5,036
ポイントF 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 653	△ 2,030
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 7	△ 0
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	667	2,431
現金及び現金同等物の 期首残高	18,817	19,485
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	67
現金及び現金同等物の 期末残高	19,485	21,984

- D** 営業活動により得られた資金は、前年同期比13億28百万円増加し、94億98百万円（前年同期比16.3%増）となりました。これは、主に税金等調整前当期純利益、減価償却費などの資金増加要因が、法人税等の支払額、たな卸資産の増加などの資金減少要因を上回ったことによるものです。
- E** 投資活動により支出した資金は、前年同期比18億5百万円減少し、50億36百万円（前年同期比26.4%減）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が増加したものの、貸付による支出が減少したことなどによるものです。
- F** 財務活動により支出した資金は、前年同期比13億77百万円増加し、20億30百万円（前年同期比210.8%増）となりました。これは、主に長期借入れによる収入が減少し、長期借入金の返済による支出が増加したことなどによるものです。

トピックス（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）

たんぽぽ薬局 骨髄バンクへの寄付を当期も継続

たんぽぽ薬局では、平成22年より社会貢献活動の一環として日本骨髄バンクへの寄付を継続して行っています。当期においては、たんぽぽ薬局で受け付けた処方せん1回につき1円の割合で算出した金額に、一部会社からの拠出を加えた2,600,000円を寄付。平成22年からの累計金額は約1,800万円となりました。

たんぽぽ薬局は、医療に携わる調剤専門薬局として、これからもより多くの患者の皆様の生命を救う活動を支援してまいります。



IRイベントに積極的に参加し、株主・投資家の皆様との対話を図っています

株主・投資家の皆様との継続的な対話の実現のため、トーカイグループは東証上場以降、定期的なIRイベントへの参加を継続しております。

当期においては、8月に東京ビッグサイトで開催された「日経IR・投資フェア2017」、2月に東京国際フォーラムで開催された「東証IRフェスタ2017」へ出展。イベント期間中は、当社ブースに足を運んでいただいた株主・投資家の方々から、当社に対するご要望や期待の声など、多くのご意見を伺うことができました。

これからも積極的なIR活動の推進により、株主・投資家の皆様との対話の機会を実現するとともに、皆様から寄せられた声をしっかりと経営に活かすことで、一層の企業価値向上を図ってまいります。

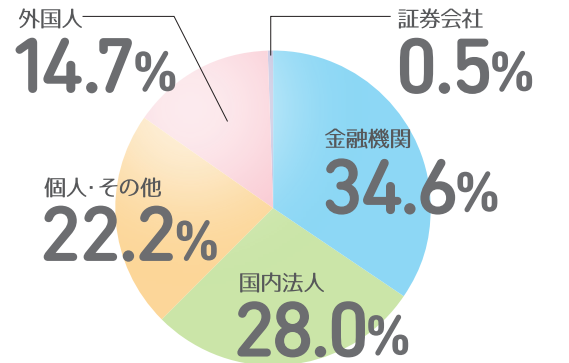


株式の状況

(平成29年3月31日現在)

株式の状況	
発行可能株式総数	普通株式 57,000,000株
発行済株式の総数	普通株式 18,020,673株
株 主 数	2,644名 (自己株名義含)

所有者別状況



配当政策

当社は、企業価値の向上および株主価値の最大化を図るべく、事業拡大のための必要な投資資金を確保するために内部留保を手厚くすると同時に、株主様への利益配分につきましては、重要な経営課題の一つと位置づけ、業績に応じて安定的な配当を継続することおよび総還元性向20%を目安として配当金額を決定することを配当政策の基本方針としております。また、当社は中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うこととしております。

配当状況								
(単位：円)								
期 別	平成27年3月期		平成28年3月期		平成29年3月期		平成30年3月期	
年間配当額	39		44		46		54 (予定)	
普通配当金	中 間	期 末	中 間	期 末	中 間	期 末	中 間 (予定)	期 末 (予定)
	16	23	19	21	20	26	27	27
記念配当金	—	—	—	4	—	—	—	—

大株主 (上位10名)			
株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)	
(有) 小野木興産	2,820	15.66	
トーカイ共友会	752	4.17	
(株) 大垣共立銀行	710	3.94	
(株) 十六銀行	705	3.91	
岐阜信用金庫	672	3.73	
(株) 三菱東京UFJ銀行	669	3.72	
小野木孝二	551	3.06	
(株) 北陸銀行	525	2.92	
日本トラスティ・サービス 信託銀行(株) (信託口)	463	2.57	
トーカイ従業員持株会	451	2.50	

(注) 持株比率は、自己株式 (19,703株) を控除して計算し、小数点第3位を切り捨てて表示しております。

会社の概況

(平成29年3月31日現在)

会社の概況	
会社の設立	昭和30年7月21日
資 本 金	8,108百万円
本 社	岐阜県岐阜市若宮町九丁目16番地
羽島本部	岐阜県羽島市正木町須賀赤松2627番地
事業所数	67拠点
工 場 数	10拠点
従業員数	2,884名 (連結)

取締役 (監査等委員である取締役を除く。)(平成29年6月29日現在)

代表取締役社長	小 野 木 孝 二
専務取締役	臼 井 忠 彦
専務取締役	白 木 元 朗
取締役	多 賀 慎 一 郎
取締役	堀 江 範 人
取締役	広 瀬 章 義
取締役	浅 井 利 明

監査等委員である取締役 (平成29年6月29日現在)

取締役	山 田 豊
取締役	磯 部 文 雄
取締役	洞 田 律 男

(注) 取締役磯部文雄氏および洞田律男氏は、社外取締役であります。

重要な子会社の状況			
会 社 名	資本金 (百万円)	議決権の 所有割合 (%)	主要な事業内容
(株) トーカイ (四国)	56	100.0	病院関連事業および 寝具・リネンサプライ事業
(株) ブレックス	20	100.0 (100.0)	クリーニング設備の製造 および販売
トーカイフーズ (株)	12	100.0	病院給食事業
(株) サン・シング東海	100	51.0	布団製造
(有) 山本綿業	53	100.0	寝具・リネンサプライ事業
たんぼぼ薬局 (株)	693	100.0	調剤薬局事業
(有) レベルアップ	3	100.0 (100.0)	医薬品卸売事業
(株) ティ・アシスト	10	100.0	ビル清掃管理事業
(株) ビルメン	30	100.0 (100.0)	ビル清掃管理事業
大和メンテナンス (株)	10	100.0	リースギン事業
(株) リースギンサポート	30	100.0	マット・モップ等の配送 および交換
九州メガソーラー (株)	67	100.0	太陽光を活用した 売電事業
(株) 日本情報マート	30	99.7	中堅中小企業向け 経営コンテンツ提供事業

(注) 議決権の所有割合は間接保有分を含めており、() 内は、内書で間接保有分であります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当／毎年3月31日 中間配当／毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〈電話〉0120-782-031 (フリーダイヤル) ※取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
一単元の株式の数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

公告方法	電子公告によります。 ただし、電子公告によることができない やむを得ない事由が生じた場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告のホームページアドレス http://www.tokai-corp.com/finance/
------	---

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金支払の際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用していただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払の都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

ホームページのご案内

トーカイのホームページでも、IR情報（投資家様向け情報）をご覧いただくことができます。
ぜひ、こちらもご利用ください。

<http://www.tokai-corp.com/finance/>

株主優待

毎年3月31日現在、株主名簿に記載された株主様に対し、その時点における保有株式数および保有期間に応じて、下記の基準のとおり株主優待品を贈呈いたします。

岐阜県の名産品の一例



保有期間1年未満の株主様



100株以上 1,000株未満	トーカイオリジナルカレー 3人前
1,000株以上 10,000株未満	トーカイオリジナルカレー 9人前
10,000株以上	トーカイオリジナルカレー 15人前

保有期間1年以上の株主様

100株以上 1,000株未満	トーカイオリジナルカレー 3人前 もしくは 岐阜県の名産品 (1,000円相当) の中から一品選択
1,000株以上 10,000株未満	トーカイオリジナルカレー 9人前 もしくは 岐阜県の名産品 (3,000円相当) の中から一品選択
10,000株以上	トーカイオリジナルカレー 15人前 もしくは 岐阜県の名産品 (5,000円相当) の中から一品選択

優待品の贈呈に代えて、社会貢献活動への寄付を選択することができます。

